

平成<sup>29</sup>年  
9月 京都府議会定例会提出議案知事説明要旨

(29. 9. 11)

本日、ここに9月定例府議会を招集いたしましたところ、議員の皆様におかれましては、御多忙の中お集まりいただき、まことにありがとうございます。

それでは、今回提案させていただいております議案につきまして、御説明申し上げます。

まず、第1号議案平成29年度一般会計補正予算についてであります。今年度は、当初予算で「共生社会の実現」を掲げ、16の重点事業を中心に、現在、取組みを進めているところであります。

今回の補正予算は、共生社会の実現に向け、更にきめ細かく施策を進めるとともに、文化庁の移転場所決定など当初予算編成後に生じた状況変化に的確に対応するため編成したところであります。

共生社会の実現では、たん吸引等の医療的ケアを必要とする子どもの保育所への受入体制整備の支援や、介護離職者、未就業保育士、女性を対象とした実地研修などの就業支援を行うとともに、道路運送法等の規制緩和を踏まえ、過疎地域等において、タクシー等による旅客と貨物の一体的な輸送や高齢者への宅配、見守り等を行うマルチ交通事業への支援を行うこととしております。

次に、文化庁の移転場所決定を契機に更に文化施策を進めるため、府立大学の和食文化学科（仮称）の設置に向けた「『和食の文化祭典』事業」や、宇治茶を提供する店舗の認定など宇治茶ブランド力の向上、芸術家の創作活動を地域と連携して支援する「芸術村づくり推進事業」、「明治150年京都事業」などを実施してまいります。

また、安心・安全緊急強化対策として、専任の女性警察官を配置した全国初となるストーカー事案専門の相談支援センターの設置や、最近の豪雨を踏まえ、間伐材の流出による被害を未然に防止するための緊急対策に取り組むなど、総額5億2,800万円となる補正予算をお願いしているところであります。

このほか、条例の改正や決算認定に係る案件など、全18件の議案につきまして審議をお願いしております。

御議決いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。